

令和7年度第4回こども子育て会議（書面会議）における意見について

○議題（1）小牧市こども計画（代用計画）について

（峯田委員）

都市部や地方によって また小牧市内でも環境が違うため 利用を希望される方々の数に偏りがあり 実際にこの事業が始まらないとわからないことはありますが たくさんの施設が参加に手を挙げてくださってよかったです。

ただ 今回の事業だけでなく子育て事業の増加で 保育や教育に関わる方々の負担が大きくなっていることや 質の低下が心配です。同じような事業とうまく連携を取って バランスよく進めていただくことを希望します。

（竹川委員）

量の見込みが半分近くに減ったのは、一時預かり事業の利用率を考慮とありますが、一時預かりと同等という認識なののでしょうか？

未就園保護者へ周知する場合、この制度の違いをあえて伝えるなら見込みはもう少し増えるのではないのでしょうか？

他県・他市等で導入されている所は現状としてどうなののでしょうか？

誰でも通園制度について私立幼稚園連合協議会からも意見がいくつかあります。

少子化により保育室が空いており、幼稚園は園庭等の環境も整っており、2歳児は受入れ可能と思いきい誰でも通園制度説明会へは数園参加しましたが、実施するにあたり課題となっている部分があります。

1. 資格者を採用することすら難しい状況があるにもかかわらず、月上限10時間という短時間利用の方に門戸を広げることはハードルが高いこと、体制の問題。
2. 利用料と給付費が少額で、安全のために行う面談や書類作成、キャンセルについては給付がないこと（見えない事務に対する給付が行われないことは現場を疲弊させるのみだと感じているという園の意見もあります）
3. 国のシステムを毎日確認する手間が増えること、事務量の増加。

R8年度4月スタートをしてみえてきた課題と共に上記の意見等を市の方でいくつか考慮していただけると

また、こんな方法にすると良い改善策がみえてくると（他市の参考等も含めて）受け入れ先として実施を検討できる幼稚園もあると思います。

また、私立幼稚園の中には一時預かり保育を行うことで2歳児の誰でも通園制度ができる状況は整えているという園もあります。